みのかも定住自立圏第２次共生ビジョン関連事業

織田信長の東美濃攻略　加茂に生きた武将たち展

会　　期：2017 年 4 月 22 日（土）～6 月 4 日（日）〈38 日間〉
会　　場：企画展示室Ｂ
展示点数：８点
観 覧 料：無料
入場者数：3,197 人（文化の森コレクション展と一緒にカウント）

内　　容

歴史上の人物として織田信長は絶大な人気があり、この地域にゆかりのある人物です。信長は加茂地域の人々ともかかわりがあることから、みのかも定住自立圏第２次共生ビジョンに位置付けられた「織田信長の東美濃攻略を題材とした歴史 PR マンガ作成事業」を美濃加茂市、坂祝町、富加町が平成 27 年度から３ヶ年で実施することになりました。

この成果として平成 28 年度に漫画『夕雲の城』を発刊しました。

この作品は約 450 年前にあった猿啄城（坂祝町）・堂洞城（富加町）での戦いで、加茂に生きた人々を漫画で描いた物語です。展覧会では、この漫画のできるまでの過程や織田信長の東美濃攻略について調査した成果を紹介しました。

関連行事

■　講演会　ミュージアムフォーラム

「織田信長の東美濃攻略について」

永禄８(1565)年、信長の猿啄城戦・堂洞城戦と戦略

５月 14 日（日）14:00～15:30　緑のホール　参加料：無料　参加者：119 人

講師：横山住雄氏(郷土史家)

■　ギャラリー・トークとサイン会

５月５日（祝・金）14:00～　企画展示室　参加料：無料　参加者：79 人

講師：渡辺浩行氏（漫画家)、島田崇正氏（富加町教育委員会）

販売　漫画『夕雲の城』(みのかも定住自立圏第２次共生ビジョン事業)

「織田信長の東美濃攻略　加茂に生きた武将たち展」展示一覧

（美濃加茂市民ミュージアム　2017.4.22～6.4）

番号	資料名	員数	内　　容	所蔵先
1	重刊改正　信長記	8冊	寛永21（1644）年刊。 小瀬甫庵編。野田庄右衛門刊。全8冊。江戸時代広く読まれた織田信長の物語。	館　蔵
2	堂洞軍記	1冊	安政2(1855)年3月写 江戸時代に書かれた、織田信長と岸勘解由の合戦の物語。手書きの写本として読まれました。	富加町 郷土資料館蔵
3	渡辺浩行先生の道具	11件	・ペン軸・Ｇペン先（10本） ・シャーペン（下書き用）・消しゴム ・筆ペン（樹木、葉、幹などを描く） ・マジック（書き文字、擬音、ベタ塗など） ・はねぼうき・定規 ・雲形定規（曲線など。刀を描く時に使用） ・インク（開封の日付入り。古くなると粘度が高くなり、かすれてくる。）・修正液	渡辺浩行氏蔵
4	マンガ『夕雲の城』 キャラクターデザイン	5点	漫画の登場人物のスケッチ。当初、主人公の涯良沢にはヒゲがありました。	渡辺浩行氏蔵
5	マンガ『夕雲の城』 構成用ノート	1冊	下調べしたことやキャラクターのイメージなどを綿密にノートに書き込みます。	渡辺浩行氏蔵
6	マンガ『夕雲の城』 ネーム	1式	漫画を描くときに下書きのもととなるものです。ストーリーの展開、キャラクターの動きなどが描かれています。	渡辺浩行氏蔵
7	マンガ『夕雲の城』 原　稿	2冊	パソコンで原画を画像として取り込みます。パソコンでスクリントーンなどを入れて完成させます。	渡辺浩行氏蔵
8	上之屋敷遺跡出土品	85点	山頂にある加治田城に対して、山麓の居館と考えられる場所からの出土品です。（14世紀末-16世紀／加茂郡富加町加治田）	富加町 郷土資料館蔵